

### ●車体ディメンション変更 (CB1100 RS)

より軽快なライディングフィールとするため、車体ディメンションを見直しました。

完成車状態でCB1100 EXに対しフレームを前傾させた車体ディメンションとし、キャスト角をCB1100 EXの27度から26度を立てて前後ホイールを17インチ化。これによりCB1100 EXとは外観だけではなく、徹底的につくりこんだ異なる乗り味のハンドリングを体感いただけます。



■CB1100 RS

### ●足まわり変更 (CB1100 RS)

前後17インチのアルミキャストホイールには、フロント:120/70ZR 17M/C、リア:180/55ZR 17M/Cの幅広タイヤを装着。CB1100 EXとともにL字バルブを適用し、エアチェック時のメンテナンス性を向上させました。

18インチタイヤのCB1100 EXに比べ、タイヤ外周が3%短くなることによる発進加速の違いも体感していただけると考えています。

フロントフォークには、CB1100 EXのφ41mmに対しφ43mmのインナーパイプを持つラジアルマウントブレーキキャリパー用2ピースボトムケースタイプを採用。フロントサスペンションの形式を、CB1100 EX同様、専用のショーワ製SDBVとすることで乗り心地を向上させ、リアクッションに採用したリザーバータンク付き分離加圧式倒立ダンパーと併せ、軽快なハンドリングを演出しています。

また、軽量のアルミ製スイングアームを新採用することで軽快な走りに寄与。新規のマフラー(別項参照)をより車体内側に収めるためにスイングアームの曲げ位置にも配慮し、完成車のマス集中化とともに凝縮感のあるシルエットにも寄与しています。

これら車体ディメンション変更と足まわりの主要部品見直しで、CB1100 RSは、より応答性の高い操縦フィールを獲得。空冷直列4気筒DOHCエンジンのポテンシャルをより積極的に引き出したくなるような走りの楽しさを提供します。



■CB1100 RS フロント足まわり



■CB1100 RS リア足まわり